

キャンパス内混雑情報モニタリング

教室には2種類のセンサーが設置され、室内の滞在人数を計数しています。
個人のプライバシーに配慮してシステムを設計・運用しています。

オンライン授業受講のために空いている教室、コンセンが使えそうな教室を探すのに利用してください。

厚労省アプリCOCOA通信をモニタ利用する「3密」センシングシステム

情報学環 教授 中尾彰宏

厚労省COVID-19アプリ



センサー
「NAMIHEI」

1. 目的

匿名性を担保した上で指定場所の人口密度をリアルタイムに測定
本学構成員の3密を回避する行動変容に寄与する。

2. 提案システムの概要

小型測定機をキャンパス内で人口推定したい場所に設置し、
近隣の「厚労省アプリをインストールした端末」の通信事象
のモニタリングを行い、そのデバイス数を測定する。

電界強度で小型測定機からの距離も計測可能。
アプリユーザー（教職員・学生）が増えるほど
正確な人口密度把握が可能となる。

(重要) プライバシーへの配慮
端末台数をカウントするのみで、通信内容には関知しないため
個人情報は一切取得しない。



人口密度を測定したい場所



←COCOA通信を利用したモニタリングシステムの詳細は[こちら](#)



COCOA通信による各教室の滞在人数推計データは[こちら](#)→

MOBILE CHECK-IN APPLICATION (MOCHA/モカ)

工学系研究科 教授 川原圭博 / 空間情報科学研究センター長 瀬崎薫 / 生産技術研究所 助教 西山勇毅 / 学生有志

安心できるキャンパスライフのためのチェックインアプリ

MOCHAは、キャンパス内の構成員が、教室や食堂の混雑状況を把握したり、空きスペースを予約したりするためのアプリです。教室等に設置したビーコンを、ユーザのスマホで自動記録し、あらかじめユーザが同意した条件により位置情報をシステムに記録します。プライバシーに配慮しながら、政府の接触確認アプリCOCOAの機能を補います。

教室等に設置したBluetoothビーコンを用いた様々な情報提供機能

混雑情報の提供

教室や食堂の混雑度をリアルタイムに表示

予約機能 (予定)

教室や図書館の利用予約
教室のコンセン数確認

クローズド共有 (予定)

講義やサークルの部室や研究室
など、特定の場所への登校情報を
事前許可したユーザーと共有

COCOAの補完

COVID-19陽性判定者が
同意すれば滞在先を匿名
で共有

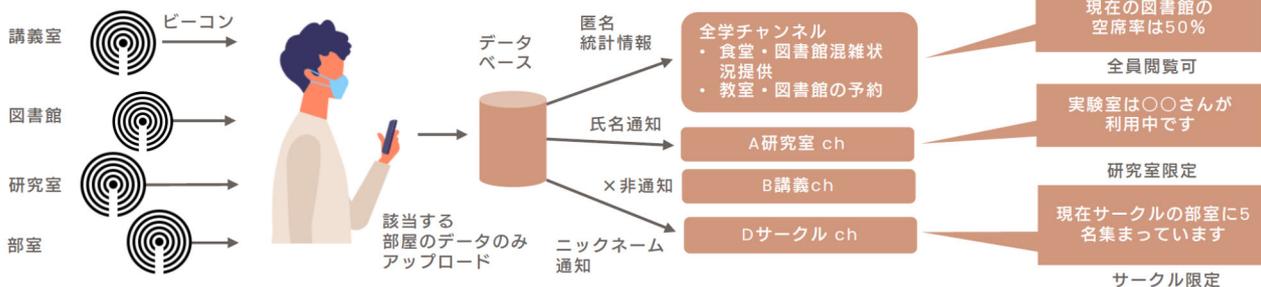


ビーコン

①研究室や教室などにiBeaconを設置
GPSだけでは取れない、建物・部屋番号を取得
駒場キャンパスの130の教室に設置

②読み取ったビーコンをスマホ経由で共有
どの情報を通知するかはユーザがコントロール可能

③管理者区分けごとの情報表示
プライバシーポリシーに応じた情報表示



←MOCHAによるモニタリングシステムの詳細は[こちら](#)



MOCHAのダウンロード・機能の詳細などは[こちら](#)→

東京大学教養学部・総合文化研究科